

## 数学科 学習指導案

実施クラス 1年C組（男子15名、女子18名）

単 元	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 反復試行の確率		
使用教科書・副教材	NEXT数学A（数研出版）・REPEAT数学I+A		
本時の目標	反復試行の確率が求められるようになる。		
本時の評価の観点及び評価規準	留意事項参照		
過程	○主な学習活動	教師の主な働きかけ	留意事項 ■評価の観点 □評価方法
導 入 3分	1 反復試行の確率とは	1 教科書を投影し内容の確認。	
展 開 39分	2 【予習】教科書を読む。 3 【確認】疑問点を確認する。 板書以外にも気付いた事を教科書へ書き込み、自分だけの参考書をつくる。  4 【予習】例21 5 【確認】教科書へ書き込み 6 【演習】（練習54） 7 【解答確認】 生徒による解答の解説  【確認テストの配信】 8 演習（確認テスト） 9 演習解答確認  【チャレンジ問題】 10【予習・確認・演習・解答確認】	2 疑問点を整理させる。 3 説明・解説する。  4～7 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     授業のルーティン                      【予習・確認・演習・解答確認】                      ・個人作業、グループワーク                      ・発問により疑問点を確認                      ・机間巡視                      ・解答を投影し生徒が解説（必要なら添削を行う）                      ・解答に関する発問                      ※上記の繰り返し                 </div> 8～9 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     【問題配信】                      配信問題の解答を瞬時に集計し、正答率から生徒の理解度を把握する。                      また、正答率の低い問題を復習するなど授業進度を考える。                      ※誤答は各自授業外で復習する。                 </div> 10 反復試行の確率の仕組みを理解し、応用問題を考察させる。	■板書以外にも気付いた事を教科書に書き込み、自分だけの参考書をつくる。 【主体的に取り組む態度】 □考查毎に提出し評価  ■配信問題の正答率 【知識・技能】 □配信毎に集計し評価
ま と め 3分	11 【振り返り】の記入	11 【振り返り】を確認し、次回以降の授業展開を考察する。	